

[掲載紙] 上毛新聞「点描ぐんま経済 日銀支店長 見聞録」

[掲載日] 2016年4月22日

[テーマ] ツツジの甘い蜜—ワクワクした子ども時代—

公園で遊ぶ子どもたちの姿を見なくなって久しい。ゲーム機などの普及によって子どもは屋外で遊ぶよりも屋内で遊ぶことを好むようになったのか。子どもをめぐる犯罪が相次ぐ中で親が子どもを外で遊ばせなくなっているのか。そもそも今の子どもはお稽古や習い事で忙しくて遊ぶ時間など無いのか。

そんなことを考えながら散歩していたところ、民家の生け垣に集まって遊んでいる子どもたちの姿を見掛けた。離れたところから観察していると、まだ咲き始めたばかりのツツジの花を吸って、甘いとかうまいとか言って、はしゃいでいる。

私が子どもの頃もこの季節にはツツジの花に夢中であった。ツツジの花は、切り取ってその根元のところを吸うと、ほんの少しであるが、甘い蜜が出てくる。蜜を吸うことができる花は他にもあるが、やはりツツジは別格。親からは不衛生だからダメと止められていたような気もするが、全く意に介さなかった。

ツツジの花が咲く小学校の校庭をミツバチのように花から花へと飛びまわる。このツツジには毒があるから吸ってはダメとか子ども同士で教えたり教わったりして、次から次へと。ついに校庭のツツジの花は全滅してしまい、担任の先生から蜜吸い禁止令を言い渡されてしまう。でも、近くにある大きな植物園では吸い放題。その植物園では一年中さまざまな花を楽しむことが出来るが、ツツジの蜜を吸えるこの季節が最もワクワクした。

自分の子ども時代と同じことを今の子どもがしているのを見て、懐かしさを感じるとともに、うれしくなった。これから県内各所でツツジの花が咲き乱れる。日本を代表するツツジの名園である県立つつじが岡公園でも、ツツジの周りではしゃぐ子どもたちの姿を見ることが出来るだろうか。

ツツジの花の蜜を吸いたくなった貴方、県花であるレンゲツツジには致死性の毒があるのでご注意を。養蜂家はレンゲツツジの開花時期には蜂蜜を採るのを控えるそうだ。ちなみに、ジャスミンティーにガムシロップを入れたものはツツジの蜜の味にととても似ているらしい。これなら毒の心配はないので、試してみてもはどうでしょう。

公園や道端など、自然に生えている花の蜜を吸ったことがある？

吸ったことがある	59.4%
吸ったことがない	40.6%

(注) アンケートサイト「マインドソナー」による調査。2015年5月実施

(出所) ニュースサイト「しらべえ」

〔 日本銀行前橋支店長  
    神山 一成 〕